

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	江東区新砂3-3-11
施設名	新砂保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

光・影・鏡

〈テーマの設定理由〉

鏡に映る光がロッカーに反射し、キラキラと光る様子に気付く姿が見られた。また、合わせ鏡の間に物を映すと、物が増えたように見える現象に驚きや不思議さを感じ、それが探究心をもって遊ぶ姿へと発展していった。

2 活動スケジュール

【8月～9月】

・合わせ鏡に興味をもち、色々な物を合わせ鏡の間に置いて鏡の中に映し出される不思議な世界を覗き込んで楽しむ。

【10月】

・図書館で『かがみ』という絵本を借り、それを読んで鏡の仕組みに関心をもつ。  
・合わせ鏡の間に置いた玩具がどこまでも続いて見えることに気付き、その現象がどのようにして起こるのか、その原因を見つけようとして遊びが展開されていく。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

【準備した道具・素材】

・鏡・アクリル玩具・おはじき・カラーセロハン・鏡の絵本など。

【環境構成】

・鏡に映し出す素材や玩具を自由に手に取れる場所に設置し、必要に応じて追加していく。

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

・鏡に反射した光が天井に照らされると、その光がどこからくるものなのか因果関係を自分なりに考える姿があった。また、合わせ鏡の間に玩具を置き、鏡の中を覗いてみると、置いてある玩具が遠くまで繋がって見えることに気づき、色々な玩具を合わせ鏡の間に置いて、見える景色を楽しんでいた。鏡の間に置いた一両しかない電車の玩具がどこまでも繋がって見える景色を見て、不思議さや驚きを感じながら遊びに夢中になっていた。また別の日には、洋服についているスパンコールが、太陽の光に反射して壁にキラキラと星のように輝いて見える現象に気づき、日差しが保育室に差し込む時間帯を考え、何度も同じ場所で繰り返し照らしてみようとする姿があった。

##### 〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

・鏡と鏡の間におはじきを置き、隙間から覗き込む場面があった。その際「おかしい!」「おかしいよね!？」と驚き、不思議な現象がどのようにして起こっているのかを確かめようとする姿があった。その「おかしい!」と思う不思議な現象の答えを見つけるために、鏡の置き方を変えてみたり、物の置き方を変えたりして、探求心をもって遊びに取り組む姿があった。

・保育者は、子どもが自分で見つけた問いの答えを見つけようとする姿を側で見守り、共感的に関わっていった。また「鏡ってなに?」という問いに対しては、図書館で借りた鏡の絵本を提供し、自分で調べたり、確かめたりできるようにしていった。



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

・合わせ鏡の中を覗き込んだ時、置いてある玩具がどこまでも広がって見えたり、繋がって見えたりする現象は、子どもの興味や好奇心を強く掻き立てた。鏡の中に広がる不思議な現象を「おかしい!」という言葉で表現し、その「おかしい」原因が何なのか、答えを見つけ出そうとする姿は、学びへ向かう姿勢へと繋がっていった。また、友だちと一緒に考えながら遊ぶことで、自分にはない発想や考えに気付くことができた。また、子どもたちは日頃から、今回のように遊びの中に様々な問いを立て、その問いに対する答えを見つけるために、考えたり試したりしながら遊びを展開しているのだと感じた。